

2019年10月3日

報道関係各位

GMOメディア株式会社

**プログラミング教育メディア「コエテコ」
「プログラミング教育に関する保護者の意識調査」を実施
～「必修化」の認知度は8割と半年で20ポイント上昇も、
「内容まで知っている」保護者は約2割
「プログラミング教育」への関心度は高い結果に～**

GMO インターネットグループの GMO メディア株式会社（代表取締役社長：森 輝幸 以下、GMO メディア）が運営する、小学生向けのプログラミング・ロボット教室情報掲載数が業界 No.1^(※1) のプログラミング教育ポータルサイト「コエテコ byGMO（以下、コエテコ）」は、2020年の小学校での「プログラミング教育必修化」まで約半年と迫る中、小学生の子どもがいる保護者 920 名を対象に「プログラミング教育に関する保護者の意識調査」を実施いたしました。

(※1) 2018年12月時点。MMD 研究所調べ。

<調査概要>

- 調査テーマ プログラミング教育に関する保護者の意識調査
- 調査対象 小学生のお子さんを持つ保護者 920 名
- 調査期間 2019年9月9日～2019年9月12日
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 調査主体 「コエテコ byGMO」

【調査の背景】

「コエテコ」では、2020年の小学校での「プログラミング教育必修化」についての認知度や、これに伴う市場動向など、保護者のプログラミング教育への関心・理解度を量る調査を定期的に行っています。

今回、小学校での「プログラミング教育必修化」まで半年に迫っていることを受け、2019年3月に実施した「プログラミング教育必修化の認知度」と「お子さんの『習い事事情』に関する調査」（以下、前回の調査）と比較しながら、プログラミング教育に関する保護者の認知度や意識の変化を探るべく、調査を行いました。

【調査結果】

1. 小学校での「プログラミング教育必修化」認知は8割超、半年で約20ポイント上昇（図1～図2）

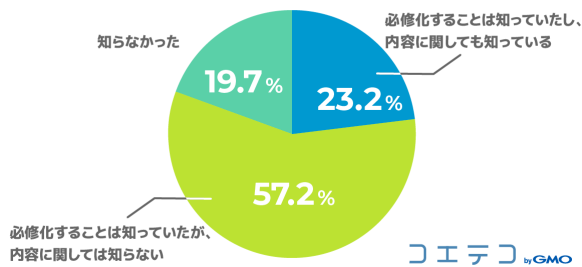
小学校での「プログラミング教育必修化」について、知っているか尋ねたところ、「必修化を知っている（80.4%）^(※2)」と回答した保護者は8割を超え、前回の調査の61.1%から7ヶ月で約20ポイントも上昇したことになります。反対に、2割弱が「知らなかった（19.7%）」と答えました。

しかし、「必修化することは知っていたが、内容は知らない（57.2%）」が6割近くに上り、認知が急速に広まる一方で、「内容まで知っている（23.2%）」保護者はまだ多くはないことがわかりました。

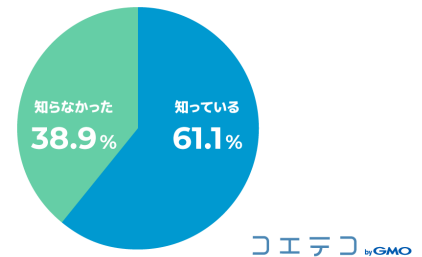
また、「必修化を知っている」と答えた8割超の保護者に、「必修化することでプログラミング教育に関心を持ったかどうか」をたずねたところ、過半数の保護者が「関心を持った（58.2%）」と答えました。来年度の必修化を目前に、保護者の「プログラミング教育」への関心の高まりがうかがえました。

(※2) 「必修化することは知っていたし、内容も知っている (23.2%) 」と「必修化することは知っていたが、内容は知らない (57.2%) 」の合算。

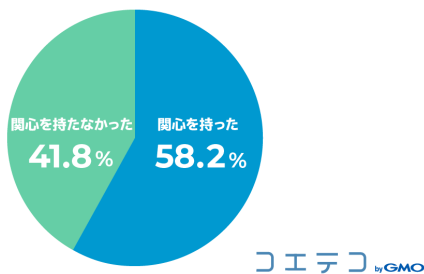
(図 1) 小学校でのプログラミング教育必修化の認知度 (単一回答、N=920)



(前回の調査) 小学校でのプログラミング教育必修化の認知度 (単一回答、N=1,208)



(図 2) 必修化することでプログラミング教育に関心を持ったかどうか (単一回答、N=739)



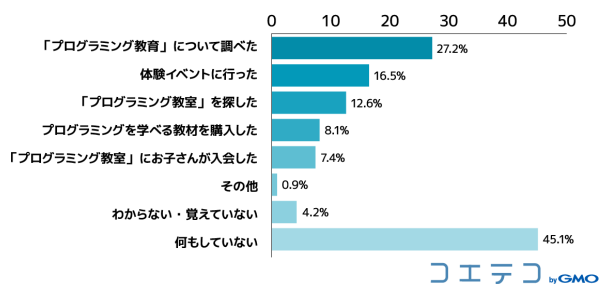
2019年3月6日発表: 「プログラミング教育必修化の認知度」と「お子さんの『習い事事情』に関する調査」より

2. 保護者のプログラミング教育への関心度は高い、「お子さんがプログラミング教室に入会した」との回答は約1割 (図3)

続いて、「プログラミング教育に関心を持った」と答えた保護者に「関心を持ったことで何か行動を起こしたか」を聞いたところ、何らかの行動を起こしたと回答した保護者が合わせて 54.9%と過半数を占め、「何もしていない (45.1%) 」を上回りました。

具体的に起こした行動としては、「プログラミング教育について調べた (27.2%) 」という回答が最も多く、次いで「お子さんがプログラミングを学べる体験イベントに参加した (16.5%) 」 「お子さんのプログラミング教室を探した (12.6%) 」が続きました。実際に「プログラミング教室にお子さんが入会した (7.4%) 」のは、1割弱となっています。

(図 3) 関心を持ったことで何か行動を起こしたか (複数回答、N=430)



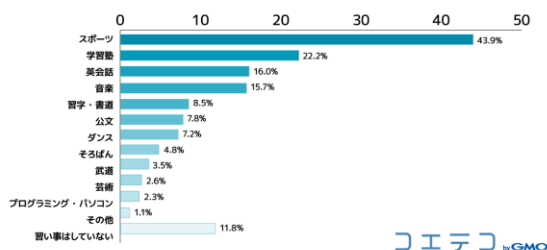
3. プログラミング、「子どもが今習っている」は少数派だが「今後習わせたい」意向は高い (図4～図5)

小学生の子どもはどのような習い事をしているのか、「お子さんがしている習い事のジャンル」について調査しました。結果、9割近くの子どもの「習い事をしている (88.2%) 」ことがわかり、具体的には「ス

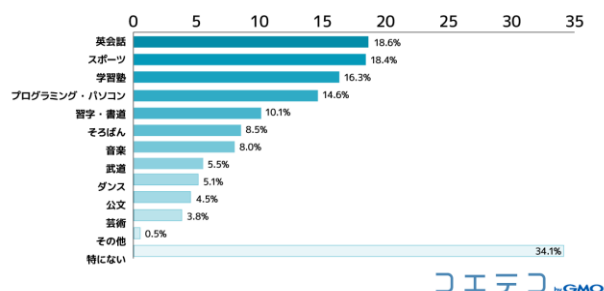
スポーツ（43.9%）」が最多、「学習塾（22.2%）」「英会話（16.0%）」「音楽（15.7%）」と続きました。「プログラミング・パソコン（2.3%）」は、1割以下となり、少数派となっています。

また、「今後習わせたいこと」についても質問してみました。その結果、「英会話（18.6%）」「スポーツ（18.4%）」「学習塾（16.3%）」となり、上位3つは「現在の習い事」と同じでしたが、次いで「プログラミング・パソコン（14.6%）」となりました。今現在は、「プログラミング・パソコン」を習わせていないけど、今後は習わせてみたいと思っている保護者が多いことがわかりました。

(図4) お子さんが習っている習い事
(複数回答、N=920)



(図5) 習わせたい習い事
(複数回答、N=920)



【「コエテコ」の体験授業申し込みから見る、「プログラミング教室体験」利用者傾向】

「コエテコ」では、2018年8月から、掲載しているプログラミング教室への「体験授業」の申し込み機能を提供しています。この「体験授業」の申し込み機能の利用動向を見ると、プログラミング教室の体験を申し込んだお子さんの約8割が「年長（5歳）から小学校4年生まで」ということが分かっています。性別も8割超が「男」で、プログラミングを学ぶ女の子は少数派であることがうかがえます。また、「体験申し込みのあった教室の地域」は半数近くが「関東」で、「コエテコ」で掲載している教室の地域分布と比較しても、「関東」の体験申し込みの比率は高くなっています。これらを総合すると、「プログラミング教室」に関心を持つのは、関東近郊に住んでいる小学校低・中学年の男の子が多いようです。

【「コエテコ」とは】（URL：<https://coeteco.jp/>）

GMOメディアが運営する「コエテコ」は、「プログラミング教育がわかる、プログラミング・ロボット教室がみつかる」をコンセプトに、2017年11月に開設した小学生向けのプログラミング・ロボット教室情報掲載数業界No.1のプログラミング教育ポータルサイトです。プログラミング教育に関する最新ニュースや調査結果をはじめ、様々なプログラミングスクールの情報を伝えることで、小学生のお子さんを持つ親御さんを対象に、プログラミング教育への理解を深めるとともに、プログラミングスクール選びの参考となることを目指しています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMOメディア株式会社 広報担当 森島
TEL：03-5456-2626 FAX：03-5459-6077
E-mail：pr@gmo.media
- GMOインターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 石井・高橋
TEL：03-5456-2695 E-mail：pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMOメディア株式会社 沼田
TEL：03-5456-2626 FAX：03-5459-6077
E-mail：info@gmo.media

【GMOメディア株式会社】 (URL : <http://www.gmo.media/>)

会 社 名	GMOメディア株式会社 (東証マザーズ 証券コード : 6180)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 森 輝幸
事 業 内 容	■メディア事業 ■その他メディア支援事業
資 本 金	7億6,197万円

【GMOインターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMOインターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資 本 金	50億円

Copyright (C) 2019 GMO Media, Inc. All Rights Reserved.